

配信能力の増幅

下記のグラフは弊社内における試験結果の一例です。**SkeedShare™**からの転送量(■棒グラフ)が限られていても、**SkeedReceiver™**間での転送(■棒グラフ)がその数倍の量発生することで、ネットワーク全体の配信能力が大幅に拡大されていることがわかります。



活用例

■ 一般消費者へのHD動画の配信



サーバー機材やネットワーク出力帯域を増強することなく、従来の3倍以上の画質(ビットレート)の動画を配信可能。

▶ 視聴者への訴求力が大幅に向上

同一画質(ビットレート)の動画なら、必要なネットワーク出力帯域は従来の3分の1以下。

▶ 配信コストの大幅な削減が可能

■ 一般消費者へのオンラインゲームクライアントの配信



インストール不要の専用ダウンロードソフト(レジューム機能搭載)により、4GByteを超えるような大きなデータも、ストレスなくダウンロード可能。

▶ ダウンロード過程における離脱率が低下

SkeedCast®ネットワークからのデータ取得が不可能だった場合には、自動的にHTTPサーバーからの取得に切り換え。

▶ 確実なオフロードにより配信コスト削減を実現しつつ、ダウンロードできないユーザーの発生を防止

■ ソフトウェアアップデートの配信



SkeedCast®の通信用ライブラリーを利用することにより、任意のアプリケーションから**SkeedCast®**のスケールビリティを活用した通信を行うことが可能。

▶ 大量のアクセスが集中するソフトウェアアップデートの配信を、ソフトウェア利用者に違和感を抱かせずにオフロードすることが可能

■ 企業内、企業間における業務用データ配信



SkeedCast®による配信は、暗号技術によってセキュアに保護済み。

▶ 電子カタログやサイネージデータ等の他、業務マニュアルや図面データ等の機密を要する情報も、WAN/インターネット越しの環境で安全に配信することが可能

基本ソフトウェア 推奨環境

SkeedCast®を動かす上での推奨環境は下記の通りです。

	SkeedCast Administrator™	SkeedOrigin™	SkeedShare™	SkeedReceiver™
OS	Red Hat Enterprise Linux® 5 あるいは CentOS 5			Windows XP SP3 以降
CPU	インテル® Celeron® プロセッサ-G1101 (2.26GHz/2MBキャッシュ/1066MHz) 以上			—
Memory	4GB以上			1GB以上
HDD	—			—

(ハードウェアについて) **SkeedOrigin™**: DELL PowerEdge R310(参考製品) / **SkeedShare™**: DELL PowerEdge R310(参考製品)

大容量デジタルデータ配信ソリューション



無限のスケールビリティを実現する

SkeedCast® 



株式会社 Skeed

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-6-17 目黒プレイスタワー5F
TEL:03-5487-1032 FAX:03-5487-1037

http://www.skeed.co.jp E-mail:salesmembers@skeed.co.jp

※ Windows XPは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Red Hatは、米国Red Hat, Inc. ならびにその子会社の登録商標です。
※ 記載の製品名は各社の商標もしくは登録商標です。



SkeedCast®は、WAN/インターネットを通じて、多くのユーザーにデジタルデータ(ファイル)を配信するためのソフトウェア製品です。

本格的なクラウド時代を迎えた現在、ネットワークを通じて配信する必要があるデータの数および容量は爆発的な増加を続けており、それらのデータが流通する地理的な範囲の広さ、データの配信におけるスピード・安全性・確実性に対する要求は、高度化してとどまるところを知りません。

SkeedCast®は、業界をリードする先進的な独自技術であるSkeedテクノロジーが備える高度なスケーラビリティおよび柔軟性を最大限に活用することによって、大量の配信におけるニーズに確実に応えます。

無限のスケーラビリティを実現する配信システム

無限のスケーラビリティを実現

SkeedCast®による配信では、データの受信者が利用しているマシンも、自分が受信したデータを自動的に他のマシンに再送信することによって配信に貢献するため、ネットワーク全体で配信可能なデータ量が、必要に応じて自動的に増強されることになります。これによって、少ないサーバーリソースで、大容量のデータを極めて多数のユーザーに対して配信することが可能です。

人気のデータは自動的に拡散、不人気のデータは片隅に撤退

ユーザーからリクエストの多いデータほど自動的に、多くのマシンに暗号化されたブロック(分割されたデータ)として拡散・散在していきます。また、そうではないデータは、リクエスト頻度の高いデータへ徐々に置き換えられていき、最終的にオリジナルデータのみが残りに残ることになります。このため、ある時点において人気があるデータは必ず高速にダウンロードすることができる一方で、不人気のデータは、片隅に撤退していき、最小限のディスク使用量のみで、いつまでもダウンロード可能な状態を保ち続けます。

ロードバランサー要らずの自律的な負荷分散

SkeedCast®内の各マシンは、データ転送速度や自マシンの負荷を判断材料としながら、自律的に通信相手のマシンを選別します。このため、負荷分散を実現するロードバランサーを設置、運用する必要がありません。また、ハードウェア故障等によってあるマシンが正常に動作しなくなったとしても、各マシンが自律的にフェイルオーバーを実現するため、データの配信に障害が発生することはありません。

アーキテクチャー



SkeedCast Administrator™

[Webベースの管理ツール]

SkeedOrigin™

[投入ゲートウェイ]
SkeedCast®ネットワークへのデジタルデータ投入口です。投入されたデータを分析してファイル情報を生成し、データをブロックに分割します。

SkeedShare™

[配信フロントエンド]
SkeedOrigin™から受け取ったファイル情報をSkeedCast®ネットワーク内に拡散させます。また、SkeedReceiver™からのブロック転送要求に応じながら、転送したブロックをキャッシュとして蓄積します。

SkeedReceiver™

[クライアント]
ユーザーの操作に応じてSkeedCast®ネットワークからデータのブロックを収集し、元のデータを再構成します。再構成されたデータは、様々な形でユーザーから利用可能です。
(例) 仮想ディレクトリー、HTTP、ストリーミング等

